

おじゃまします！

一中校区CS情報

文責：徳永哲郎（地域学校コーディネーター）

2021.1.25 No.30

新年を迎えて ～ 各学校の様子 ～

「やさしい人になりたい！」

～ 上道小4年生「10歳の決意」～

4年生が「二十歳の半分」の決意を書いていました。

- ✿「周りの人を大切にして、どんな人にもやさしくしたい。」
- ✿「ルールやマナーが守れる大人になりたい。」
- ✿「人の役に立てる大人になりたい。」
- ✿「やさしくて頼りになる人。年上の人には敬語を使う。」
- ✿「みんなの役に立てて、あいさつもしっかりできる人。」
- ✿「子どもにもお年寄りにも親切に、やさしくしてあげたい。」

半数以上が「社会の一員としての生き方」を目標にしていたのにびっくり。家族や地域の人々、先生方とのふれあいがこの気持ちを育てたにちがひありません。



心をこめて書かれたものばかり！



「多くの瞳に見守られて」 参観日・学習発表会、夏休み学習会、マラソン大会



「本に親しもう！」

～ 境小の「読書まつり」(1/19～21)～

読書に興味・関心を持ってほしいと、児童会図書委員会が主催。図書室には大勢の児童が訪れ、①3冊貸し出し券②手作りしおり③本の表紙で作ったバッグ、のどれかが当たる抽選箱の前に長い列ができていました。

境小の読書ボランティアには、「トトラー」と呼ばれる読み聞かせ担当と本の修理などを行う環境担当があり、今回は環境担当の3名が表紙のバッグづくりをしてくださいました。「より多くの方の協力で多様な活動ができれば…」と言う図書職員の阿川薫先生でした。



「何が当たるかな？」

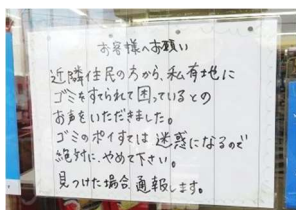


しおり人気No.1は「鬼滅」？



楽しいバッグがいっぱい

一枚の貼り紙



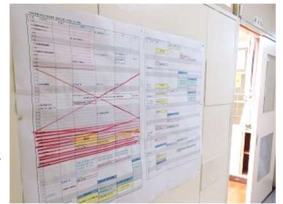
前号で紹介したコンビニのうち、一つの店の玄関にこんな貼り紙が。あなたはどんなことを感じますか？
(2020.12.22)

「今こそ勝負の時！」

～ 一中 3年生廊下の予定表～

3年生の廊下に、願書提出、試験、合格発表などの予定表が掲示されています。修学旅行、体育祭、部活など多くがコロナ禍により縮小される中、3年生はよりよいものをめざして協力し、工夫し、高め合ってきました。

表を見て『あと何日か…』と深呼吸する姿が目につかびます。とにかく悔いのないように“Do your best!”ただ、健康にはくれぐれも気を付けて！



緊張が伝わってきます…

一中校区が生んだ逸材 フレスコ画の巨匠

作野旦平(朝日町出身) 1943～2000

本名正堂。医者の子として誕生、境国民学校、旧境中学、新制境第一高校を経て、武蔵野美術学校に進む。卒業後イタリアに留学、ルネサンス初期から中期にかけて、教会の壁画に多く用いられたフレスコ画の技法を学ぶ。帰国後は関西に拠点を置き、多くの施設のステンドグラスや壁画を手掛けたが、故郷への想いは強かった。境港市文化ホールや「海とくらしの史料館」に、故郷の海と自然を表現した作品がある。



「海くら」の天井の作品

力を合わせて一歩ずつ ～年頭に当たって～

前回の丑年の2009年、バラク・オバマ氏が米大統領に就任。今年はドナルド・トランプ氏支持者が議会議事堂に侵入し、死者が出る事態に。「誰にも予想できなかった変化」というのに、最近実によく出会います。

でもすべてが変わるわけではないし、変えてはいけなことがあります。年末年始の大寒波。10年前の大雪の時に比べると予報の精度ははるかに向上し、余裕は十分でした。しかし、少子高齢化が進み、家の周りの除雪に困る所も。そこで「余裕」の時間を近所の除雪に向けました。「向こう三軒両隣」ですね。

40年前、先輩に「朝、雪かきがしてある学校は地域から信頼される」と教わりました。変わらず信頼し支え合う学校と地域でありたいものです。

